

## 前回会議以降の各種会議の結果報告

平成 21 年度 地域連絡会議・科学委員会 合同会議【2009.7.10】

参考資料 1 参照

前回委員会以降に開催された各種会議での検討状況について、事務局から報告を行った。

推薦書の検討について事務局から説明を行い、変更後の国立公園面積に関する議論や、地図の表記に関する助言等があった。

管理計画の検討やパブリックコメントの実施について、事務局から説明を行い、定期航路を管理計画の対象範囲に含めていることをアピールすべきである等の指摘があった。指摘を反映の上、パブリックコメントにかけることについて、了承された。

第 33 回世界遺産委員会【2009.6.22～30】 次ページ以降参照

## 第 3 3 回世界遺産委員会概要（報告）

### 1．開催期間・場所

2009 年 6 月 22 日（月）～30 日（火） 於：セビリア（スペイン）

### 2．構成

議長 Mrs Maria Jesus San Segundo（スペイン）

委員国 オーストラリア\*、バーレーン、バルバドス\*、ブラジル、カナダ、中国、キューバ、エジプト、イスラエル、ヨルダン、ケニア\*、マダガスカル、モリシャス、モロッコ、ナイジェリア、ペルー、韓国\*、スペイン、スウェーデン、チュニジア\*、アメリカ合衆国\*（21ヶ国）（\*…副議長国）

諮問機関 IUCN（国際自然保護連合）、ICOMOS（国際記念物遺跡会議）等

事務局 ユネスコ世界遺産センター

その他、締約国の代表団 ほか オブザーバ参加

### 3．我が国からの参加者

政府代表団として、外務省、文化庁、環境省、林野庁の担当者等が参加。

### 4．主な議題

（報告案件）・前回会合の報告、世界遺産センターの活動報告他

（世界遺産の保全状況審査）

・強化された監視の仕組み（reinforced monitoring mechanism）（議題 7.2）

・危機遺産一覧表記載物件の保全状況審査（議題 7A）

「ドレスデン・エルベ渓谷」等

・世界遺産一覧表記載物件の保全状況審査（議題 7B）

（世界遺産一覧表及び危機遺産一覧表）

・暫定一覧表（議題 8A）

・世界遺産一覧表への推薦（議題 8B）

「ル・コルビジエの建築と都市計画」等

（代表性・均衡性・信頼性のある世界遺産一覧表のためのグローバル戦略）

・顕著な普遍的価値（議題 9）・国境を越えるシリアル推薦（議題 10A）

（定期報告 他）

・定期報告（議題 11）・作業指針の改定（議題 13）

（行財政事項）

・国際的援助、予算執行報告、予算採択

## 5. 世界遺産に関する主な審査概要

### (1) 危機遺産の保全状況審査

文化遺産の「ドレスデン・エルベ渓谷」(ドイツ)が世界遺産リストから削除され、同時に危機遺産リストからも削除された。)削除の理由は、ドレスデン市中心部から約4キロ離れたエルベ渓谷に建設中の橋が、文化的景観を損ねると判断されたことによるもの。

一方、アゼルバイジャンの「城壁都市バクー」は、改善措置の実施が評価され危機遺産リストから削除された。

また、文化遺産ではグルジアの「ムツヘタの文化財群」1件、自然遺産ではベリーズの「バリア・リーフ保護区」とコロンビアの「ロス・カティオス国立公園」の2件が、新規に危機遺産リストに掲載された。このため、危機遺産リスト記載案件の数は自然遺産15件、文化遺産16件、合計31件となった。

### (2) 新規登録等に関する審査

自然遺産については、当初4件が推薦されたが、そのうち諮問機関から記載の評価を受けていた2件の資産について審査が行われ(ほか2件は推薦取り下げ)、2件が新規に記載された結果、合計176件となった。

複合遺産については、当初3件が推薦され、そのうち文化遺産としての評価で情報照会となっていた五台山1件が審査され(ほか2件は推薦取り下げ)、文化遺産として記載された。

文化遺産は11件が追加されたがドレスデン・エルベ渓谷1件が削除されたため、合計689件となり、複合遺産25件とあわせて、世界遺産は全部で890件になった。

複合遺産の評価は前者がIUCN,後者がICOMOS

国	資産	区分	諮問機関評価	結果
ドイツ/オランダ	ワッデン海	自然	記載	記載( , , )
イタリア	ドロミティ山岳地帯	自然	記載	記載( , )
フィリピン	トゥバタハ岩礁海中公園	自然	拡張承認	拡張承認
韓国	朝鮮白亜紀恐竜海岸	自然	不可	取り下げ
ロシア	レナ石柱自然公園	自然	不可	取り下げ
中国	五台山	複合	不可 - 情報照会	記載(文化遺産として)
モルドヴァ	旧オルヘイの文化的景観	複合	不可 - 記載延期	取り下げ
クロアチア	ロニャ平原自然公園	複合	不可 - 不可	取り下げ

アルゼンチン・ベルギー・フランス・ドイツ・日本・スイスの6ヶ国は、「ル・コルビジェの建築と都市計画」の登録を申請したが、「情報照会（Referral）」の決議を受け、登録されなかった。

（今年5月に、ICOMOSから、「顕著な普遍的価値」の証明との関係で様々な指摘を受け、「記載延期（Deferral）」の勧告を受けていた。）

### （3）そのほかの議題について

#### 定期報告

アジア太平洋地域の第2回周期定期報告の作成準備は2010年から開始される予定である。事務局から地域ワークショップ開催などへの資金援助要請があった。また、アジア太平洋地域の前年に報告が行われるアフリカ地域に対して、すべての遺産について「顕著な普遍的価値」を再整理し、2010年2月1日までに提出するよう要請が決議された。

#### 作業指針の改定

「顕著な普遍的価値」を記述する際の書式の新規策定などに関する改定案が審議されたが、採択されず、次回委員会でさらに審議することとなった。



世界遺産委員会会場



世界遺産委員会会議風景